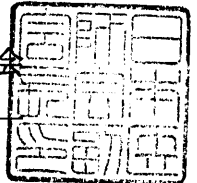


平成 21 年 12 月 2 日

W E D G E 編集部 御中

社団法人日本医師会  
副会長 宝住 与一



### 「W E D G E」2009 年 12 月号に対する抗議

J R 東海道新幹線車内で無料配布もされている「W E D G E」12月号、「医師会が築いた医療の闇、メスを入れるのは今」については、事実誤認がはなはだしく、J R 線を利用する全国の医師から抗議が殺到している。日本医師会は以下のとおり抗議する。

1. 歯科医師会の記事内容に対して「医師会」とのタイトルをつけており当会の名誉を著しく傷つけている

タイトルは「医師会が築いた医療の闇」となっているが、記事の大半は歯科診療についてである。医科診療と歯科診療を混同している今回の記述については、不見識を疑わざるを得ない。

社団法人日本医師会、社団法人日本歯科医師会は、完全に別の法人であり、通常、日本医師会が「医師会」と呼ばれる。貴誌のタイトルから、多くの読者は「医師会」の記事であると認識しかねず、当会の名誉をはなはだしく傷つけるものである。

2. 日本医師会は情報公開、I T 化を推進している組織である

日本医師会は、平成 12 年に診療情報の提供に関する指針を作成し、請求のあるもの（カルテを含む）について開示を行うこととしている。ま

た平成13年には、「日医IT化宣言」を発表し、医療分野の情報化を積極的に推進している。

今般、当会对し何ら取材もなく、医療情報が不透明で闇に葬られているかのような記事を掲載されたことは、きわめて遺憾である。

### 3. 日本医師会は、公益法人制度改革にむけ着実に準備を進めている

日本医師会は現在、公益社団法人への移行を目指し、準備を進めており、財務的要件は十分満たしている上、定款変更等のガバナンス面に関する事項の検討などを行っているところである。

しかるに、貴誌は書籍の引用のみから、公益法人制度改革の意味を十分理解せず、公益法人への認定が簡単ではなく医師会が崖っぷちにあると断じ、日本医師会の存続が危ういかのように論じている。このような報道は、当会に甚大なる被害を与えかねない。

以上、強く抗議するとともに、貴誌の良識のもと、すみやかに謝罪と修正記事を発表されることを要求する。